クラウドクレジット株式会社

2021 年 11 月 15 日

北欧個人向けローンファンド（全号共通）

【為替ヘッジあり】北欧個人向けローンファンド（全号共通）

2021 年 10 月期（2021 年 10 月 1 日～10 月 31 日）の運用状況及び分配について

平素よりお世話になっております。北欧個人向けローンファンドおよび【為替ヘッジあり】北欧個人向けローンファンド（以下「本ファンド」といいます。）にご投資いただき、ありがとうございます。足元におきましても 2016 年 12 月期にご報告申し上げた運用環境が継続しておりますので、ご案内申し上げます。また、2017 年 2 月期から、投資家様の公平性をより保つために各号ごとの分配額の決定方法を変更させていただいておりますので、ファンド全体の分配額についても併せてご連絡させていただきます。

【運用環境について】

本ファンドは、Fellow Finance Oyj が運営する P2P レンディングマーケットプレイスを通じてフィンランドの個人向けローンに投資するファンドです。運用開始後、クラウドクレジット株式会社（以下「本営業者といいます。)」以外の投資家からの Fellow Finance Oyj のローンへの投資資金流入が増加したことで金利水準が低下し、債務者の借換え、貸付期間の長期化が多数発生いたしました。その結果、本ファンドの投資対象となる個人向けローン案件が減少したため、2016 年 7 月より Bondora AS が運営する P2P レンディングマーケットプレイスを通じて、エストニア・フィンランド・スペインの個人向けローンにも投資対象を広げファンド運用を行ってまいりました。しかしながら、その後も投資家から当該ローン市場へ資金流入が継続的に増加したことで利回りの低下と各ローン案件の長期化が一段と進行しました。結果、利率が低下し、借入が長期化する環境が常態化しております。本営業者が主要な投資対象としていたクレジットレーティングの水準にあるローンの平均貸付利率はファンド設立当時 20.7%でしたが、直近 1 年は概ね 10.2～13.7%で推移しており、2021 年 10 月においては 10.7%程度となっております。

【本営業者の対応】

本ファンドが投資対象とするローン市場における利率低下、および長期化を伴う借換えの増加の影響を受け、本ファンドは利息収入の低下と滞留資金の増加が避けられない状況です。そこで本ファンドで

は設定当初に見込んでいた利息収入を受け取ることができなくなったため、配当可能な現金財産を各号ごとに按分処理したうえで、投資家様に分配することといたしました。具体的な今後の分配方法としては、現在ファンドが保有している現金財産と今後貸付債権から回収が見込まれる将来キャッシュフロー(契約上の金額ではなく、遅延、延滞等の影響を考慮した本営業者の推算値)から得られる収入をもとに、各号のユーロ貨による最終的な投資倍率が可能な限り等しくなるように按分比率を決めさせていただいております。その按分比率に応じて、毎月分配可能な現金を按分し分配しております。将来キャッシュフローに関しては毎月の分配時に精査し按分比率もその都度調整いたします。

なお、当月の分配予定の無い号に関しては、ファンド全体の按分で割り当てられる資金を留保しております[1]。また、各号ごとに分配または前述の留保を行った後で、本営業者のエストニア子会社であるCrowdcredit Estonia OÜ（以下「エストニアグループ会社」といいます。）の預金口座に現金財産が残る場合には、翌月期以降の分配に備えて一旦留保し、漸次、按分可能額へ振り分けております[2]。そして各号の出資金をすべて返還したのちに財産が残ることが見込める場合、利息の分配を行う予定です。

また、5号、6号およびヘッジあり1号、2号、3号、4号につきましては、出資金を全額返還できるめどが立ったため元本の優先的な返済およびそれに相当する出資金の返還を中断し、利息の返済に相当する利益の分配を行いましたが、これまで収受できず累積した運用手数料分を控除したため、2021 年10 月期におきましては匿名組合出資に対する返済原資はございませんでした。

([1]「2021 年 10 月期分配時点（ファンド全体)」(後掲）における(5)を留保しております。)

([2]「2021 年 10 月期分配時点（ファンド全体)」(後掲）における(2) - (4)で計算される額を留保しております。)

2021 年 10 月期のファンド全体の分配額の決定に関しましては以下の計算をご参照ください。

10月分配時点（ファンド全体）

ローン残高	€ 4,238.68	・・・(1)：当月分配時のローン残高
現金	€ 140.07	・・・(2)：当月分配時の現金残高
合計	€ 4,378.75	・・・(3) = (1) + (2)
当月按分可能額	€ 140.07	・・・(4)：当月の分配可能原資総額 ※
当月留保金計上額	€ 8.27	・・・(5)：当月分配の無い号への留保額
累計留保金充当額	€ 0.00	・・・(6)：累計留保金から当月の分配に充当する金額
当月分配額	€ 131.80	・・・(7) = (4) - (5) + (6)：当月分配のある号への分配額
前期累計留保金	€ 0.00	・・・(8)：前月までに留保された金額の累計（（2）の内数）
当期留保金残高	€ 8.27	・・・(9) = (8) + (5) - (6)：当月分配後の留保金残高

※将来のキャッシュフローを想定し当社が計算した分配可能原資額

【今後の見通し】

本ファンドはこれまで、投資可能な現金資金が滞留している場合に、投資対象たりうるローンの期間及びクレジットレーティングの新規ローン案件に再投資を行って利息収入を最大化するよう努めてまいりました。

【運用環境について】に前述しております通り、当月期につきましても、本ファンドが再投資の対象とするクレジットレーティングの新規ローン案件の貸付利率が低下するとともに、貸付期間が長期化する状況が続いたことで、投資対象たりうる新規ローン案件がなかったため、再投資できておりません。一方で、既存ローン案件における早期償還が継続しておりますので、それによって、当初予定していた利息収入を満額獲得することが引き続き困難な状況にあります。つまり、ユーロ建てでの運用利回りが当初の期待利回りに対して低下することは避けられない状況にあります。もちろん、今後の遅延、未払い元本及び利息の発生頻度によって最終的な実現利回りは上下いたします。

なお、分配金はユーロを円貨に転換しファンドごとの分配スケジュールに従いお支払いいたします。（この際、出資金の返還に為替差益が発生し、かつその金額がそれまでに発生した累計の為替差損分を超えていた場合には、利益として認識されますので源泉徴収税が控除されます。）分配額の詳細は分配金レポート（本営業者サイト上のマイページに掲載いたしております。）をご確認いただければ幸いです。

【エストニアグループ会社からの日本への送金方法の変更について】

2020 年 1 月期の運用レポートでご報告申し上げた通り、エストニア当局の規制強化に伴い AML/CFT（マネーロンダリング防止およびテロ資金供与対策）に関わる現地銀行の内部方針の変更の一環としてエストニア国外との資金決済を多く行う法人の銀行口座が閉鎖され、エストニアグループ会社の銀行口座も閉鎖の対象となりました。

本営業者グループは対応策として現地規制当局から免許登録を受けた金融サービス会社にファンド資金の本邦への送金を行うための口座を開設し、2020 年 4 月期以降はエストニアグループ会社から滞りなく返済を受けられています。なお分配金は送金等にかかるコストが控除されたものになります。

今後とも本営業者業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット株式会社）
【代表者】杉山智行　【設立年月】2013 年 1 月
【資本金等】3,148,886 千円　【URL】https://crowdcredit.jp/
第二種金融商品取引業
関東財務局長(金商)第 2809 号
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入